

平成18年度当初予算 主な新規事業一覧  
(農政部)

番号	事業名及び所管課	事業の概要
1	飛騨美濃新ブランド育成推進事業費 [農政課]	農産物のブランド化方針を明確化し県内農産物のブランド化の推進を図るとともに、新たなブランド農産物の掘り起こしを実施 農産物ブランド戦略の方針づくり ・マーケティング・リサーチの実施及び岐阜県農産物ブランド方針の提案（民間マーケティング・リサーチ会社へ委託） ・提案に基づく生産者、流通業者、消費者等を交えた検討会によりブランド方針を策定（飛騨美濃農林畜水産物生産・加工・市場連携会議） 岐阜県ブランド全体のPRにつなげる 新ブランド農産物の掘り起こし ・今後有望な県産農産物の求評会（専門家を中心とした料理研究会等）によるリサーチ及びPR
2	担い手協議会活動事業交付金 [農業振興課]	認定農業者、集落営農組織育成のため、県及び地域担い手育成総合支援協議会が行う担い手育成に要する経費に対する交付金 県担い手育成総合支援協議会活動事業交付金（県） 地域担い手育成総合支援協議会活動事業交付金（県1/2、市町村1/2）...岐阜市ほか7市町 集落営農育成・確保緊急支援事業費交付金（国1/2、市町村1/2） 担い手育成総合支援協議会(H17.9~) 農業の担い手を育成する関係団体（農業会議、農協中央会、県等関係6団体）が担い手育成の目標や方針等を共有し、関係農業団体が連携し担い手を育成するために設立した団体 事務局：農業会議
3	集落の農地を守る集落営農組織等育成支援事業費補助金 [農業振興課]	新規集落営農組織の育成、既存集落営農組織の規模拡大、農業法人組織の強化を図るため機械器具等の経費の一部を助成 集落営農組織等育成支援事業 集落営農組織等が導入する機械器具の経費の一部を助成（農協からのリース方式による負担軽減） ・事業主体：農業協同組合 ・補助率：1/2 ・事業：10箇所 農業生産法人等経営安定化事業 JA出資法人など、条件不利地域の農地を集積する法人組織に対し、経営安定の観点から行う園芸作物の導入を支援 ・事業主体：農業協同組合 ・補助率：1/2 ・事業：3箇所
4	グリーン・ツーリズム定着支援事業費 [農業振興課]	都市と農山村の住民が血縁・地縁を越え、21世紀の新しい関係づくりを進めることにより魅力ある農山村づくりを推進 グリーン・ツーリズムPR大作戦事業（任意） 都市住民の団塊の世代をターゲットにした、グリーン・ツーリズムのイメージビデオの作成（春夏バージョン） グリーン・ツーリズム受入体制強化支援事業（単補） 岐阜県のグリーン・ツーリズムを定着させるため、県内の優良な旅行組織を選定し、必要な経費を支援（H17~H19） ・補助率：1/2 “おんさい”飛騨美濃田舎フェア開催事業費（任意） 名古屋、大阪、東京の都市住民に対して、岐阜県型グリーン・ツーリズムの取り組みを紹介するための商談会等の開催

# 平成18年度当初予算 主な新規事業一覧

(農政部)

番号	事業名及び所管課	事業の概要
5	空き家活用・田舎暮らし支援推進事業費 [農業振興課]	都市と農村の交流を図るため、空き家を改修し、都市住民の二地域居住、定住を促進 空き家活用・田舎暮らし支援対策事業費(公共) 市町村が借り受けた空き家を改修する ・事業主体 飛騨市を予定 空き家活用・田舎暮らし支援推進事業費(単補) 空き家情報バンクの登録物件調査及びHPによる情報発信等 ・事業主体 飛騨市を予定
6	活力ある中山間地域づくり支援事業費補助金 [農業振興課]	県が派遣するアグリマイスターによる指導助言に基づき、農業者組織が実施する地域特産物の開発やイベント企画等を支援 補助対象 中山間地域等振興対策事業費交付金(国庫補助)を活用して整備した農林産物直売所、食材供給施設等 補助要件 ・アグリマイスターの指導助言に基づくこと ・ぎふブランドの開発又は農山村と都市との交流促進に結びつく内容であること 補助率等 1/2(上限500千円×3組織)  アグリマイスター: 県が委嘱した経営診断や特産品総合企画等の専門家
7	「あすなる農業塾」研修事業費 [農業振興課]	新規就農希望者を対象に、県内の指導農業士等のもとで長期研修(1年間)を実施し、独立就農ができる態勢を構築 研修受入農家等への支援 就農希望者に対し実践的な研修を行う受入農家等に対する報償費 受入農業者4名分 一日8時間の労働のうち2時間の研修を実施 研修者に対しては実施する作業に見合う報酬を支払い 県推進指導費 ・就農希望者のニーズに合った研修受け入れ先リストの作成 ・受入対応のための研修会の開催及び研修カリキュラムの整備
8	乾燥調整施設環境対策事業費補助金 [農産園芸課]	設置後10年以上の基幹的ライスセンターの施設周辺環境対策のために設置する湿式集塵装置の整備に要する経費に対する助成 事業主体: 農協 補助率: 1/3 事業: 4農協 事業機関: 平成18年度~平成20年度 ライスセンター コンバインで刈り取った生籾を乾燥・調整のうえ、籾摺り・玄米にして袋詰めする施設。籾での貯蔵はできない 少量ロット品種の処理に適する
9	東濃牧場整備事業 [畜産課]	下流住民等への環境対策のため現状の沢を利用した水飲み場の整備及び草地整備 給水施設等整備工 進入防止柵、管路、ポンプ及び水飲み場の設置 放牧牛が河川内へ進入するのを防止 草地造成 牧場面積284haのうち3haの整備

# 平成18年度当初予算 主な新規事業一覧

(農政部)

番号	事業名及び所管課	事業の概要
10	第9回全共支援対策事業費補助金 [畜産課]	<p>第9回全国和牛能力共進会に県代表牛を出品するために要する経費に対する助成</p> <p>補助対象：候補牛選抜、肥育、県予選会出品等経費            事業主体：(社)岐阜県畜産協会等            補助率：県1/2、市町村・農協1/10、生産者4/10            第9回全国和牛能力共進会：鳥取県(H19.10)            (岐阜県において開催された第8回共進会では最高位である名誉賞を受賞する等出品各区で優秀な成績)</p>
11	鳥インフルエンザ防疫演習開催事業費 [畜産課]	<p>鳥インフルエンザ発生農場での対応についての演習の実施及び万一の発生に備えた備蓄用防疫資材の購入</p> <p>鳥インフルエンザ防疫演習開催事業費(国補)(国1/2)            国、隣県、市町村、関係団体等による高病原性鳥インフルエンザの発生を想定した防疫演習を実施し防疫体制の検証を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施予定：10月下旬</li> <li>・実施場所：岐阜アリーナ前グラウンド</li> <li>・参加者：国、隣県、市町村関係者等 150名                        演習実施者 200名</li> </ul> <p>鳥インフルエンザ防疫資材購入費(任意)            高病原性鳥インフルエンザの発生に備えた初期防疫に必要な資材の購入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・備蓄量：2日間、延べ400人分                        (県内の平均的養鶏農家の規模を想定)</li> <li>・備蓄場所：各家畜保健衛生所</li> </ul>
12	農業水利施設保全対策事業費 [農地整備課]	<p>施設の長寿命化及びライフサイクルコストの低減と施設の信頼性の向上を図るため、農業水利施設の機能診断に基づく予防保全対策を実施</p> <p>事業内容：予防保全計画の策定(予防保全対策はH19以降)            実施地区：西山地区(中津川市)他2地区            事業期間：平成18年度～22年度</p>